

■しずだい産学連携メールマガジンVol. 61

2013年1月15日発行 【毎月第3火曜日】

⇒静大イノベーション社会連携推進機構より、お知らせやイベント情報をお届けします。<http://www.cjr.shizuoka.ac.jp/>からもご覧頂けます。

◆◆◆ 目次 ◆◆◆

1. 「産学官マッチング会in三島2013」開催のご案内
2. 「第23回はままつメッセ2013」のご案内
3. 「震災後の日本を考える社会の読み方、創り方」のご案内

※問合せのアドレスは、スパムメール防止のため表記を一部変更しています。メール送信の際は[at]を@に変更してください。

---

1. 「産学官マッチング会in三島2013」開催のご案内

東海iNETと静岡TT0では、地域産業界の皆様との技術交流を促進し、大学等の研究成果を普及する場として「産学官マッチング会in三島2013」を下記のように開催します。

本会は、従来行われていた「大学等が選んだ研究成果をご紹介する場」から一歩進んで、「地域産業界の皆様のご要望にあわせた研究成果をご紹介する場」として企業ニーズと大学等シーズのマッチングを促進するものです。

本会の発表課題につきましては、事前アンケート調査を基にプログラムを構成しております。

事前アンケート調査へのご協力、ありがとうございました。

日時 2013年1月17日（木）13：10～  
場所 三島市民文化会館 3階大会議室  
主催 東海iNET、静岡技術移転合同会社（静岡TT0）  
詳細 <http://stto.jp/>  
参加費 無料  
申込締切 2013年1月15日（火）  
問合せ/申込先 静岡大学イノベーション社会連携推進機構  
TEL 053-478-1718 FAX 053-478-1711  
E-mail match2012[at]cjr.shizuoka.ac.jp

---

2. 「第23回はままつメッセ2013」のご案内

『はままつメッセ2013』は、地域内外の企業・団体による技術の融合、取引、提携等の促進を目的とした展示商談会であり、情報交換の場としても多くの皆様に活用されています。

静岡大学イノベーション社会連携推進機構といたしましては、「静岡大学との産学連携スキームと静大発ベンチャー企業の紹介」として出展いたします。

日時 2013年1月24日（木）10：00～17：00

つと合同開催)

2013年1月25日(金) 10:00~16:00

場所 アクトシティ浜松 展示イベントホール  
ビジネス交流会・・・コンgresセンター3階 31会議室

主催 公益財団法人 浜松地域イノベーション推進機構

共催 浜松商工会議所

詳細 <http://www.hai.or.jp/messe2013>

問合せ先 公益財団法人 浜松地域イノベーション推進機構

TEL 054-489-8111 FAX 053-450-2100

E-mail messe[at]hai.or.jp

---

3. 「震災後の日本を考える社会の読み方、創り方」のご案内

第5回 2013年2月2日(土) 14:00~16:00

これからの政治のあり方 ~インターネットと政治参加~

講師: 佐藤 哲也(静岡大学情報学部准教授)

会場: 静岡大学浜松キャンパス・工学部システム棟11教室

定員 50人 (先着順)

参加費 無料

主催 静岡大学・中日新聞東海本社

申込み <http://www.lc.shizuoka.ac.jp/>

FAX・メール・はがきでもお申し込みできます(先着順)

FAX: 054-238-4295

E-mail LLC[at]entry.Lc.shizuoka.ac.jp

はがき 〒424-8529 静岡市駿河区大谷836

静岡大学社会連携推進機構 連携講座係

---

《 みんなのコラム -61- 》

記: 情報学部情報科学科 准教授 峰野博史

2002年10月にNTTから本学情報学部に移り、いつの間にか10年が経ってしまいました。

情報学とは、急速な情報化社会の進展に伴って現れた分野で「情報」が対象に含まれる様々な分野の交差する学際的な学問であり、現時点で私の考える応用学としての情報学は、哲学や思想上の重要な変化を導くもので、社会政策、企業活動、生き方などについて考える機会を与える学問なのかなと感じております。

先日、浜松高等工業学校(現:静岡大学)の故高柳健次郎教授グループの「電子式テレビジョンの開発」がIEEEマイルストーンに認定され、その業績は世界的にもアピールできるものと感じました。過去の栄光を糧に、新たな研究分野でも顔となる研究分野を確立し、更なる飛躍を目指すべきと考えます。例えば、静岡大学が重点分野の一つとして位置づける『グリーン科学技術』に関して、世界をリードする先導的役割を担える可能性を備えていると思っています。2010年3月に導入され、大規模な省エネと運用コスト削減の実現を期待する新情報基盤システムSUCCESと、そのサブシステムの一つである環境負荷モニタリングシステムの導入は、国内大学に先駆けており世界的に見ても引けを取らない規模のものでした。これまでの様々な競争的研究プロジェクト、企業との共同研究などを積み

重ね、着々と技術面だけでなく交友面でも私自身の基礎ができ始めてきました。これらの基盤をベースに、様々な異分野の研究成果を効果的に連携させながら、センサネットワークの利活用だけでなく、膨大なデータを効率よく管理する分散管理手法の適用、得られたデータから状況を推測し、自然と人工を効果的に利用した共生環境制御へつなげる仕組みなど、応用学としての情報学に関して、世界に誇れる教育と研究を連携させたモデルキャンパスの実現を目指していきたいと思っております。

以上のような活動を通じ、従来の問題がどこにあり現在どういう状況なのか、それらをいかに打破していくか、そして社会でどのように役立てていくかを提案し、学生自ら実体験する形の教育システムも確立できればと思います。地域産業の発展・充実、地域社会との共生を目指した社会貢献活動も意識し、周囲を巻き込んだ明るい未来の創造に向け協力して積極的に進めていくことが、地方大学としての静岡大学のあるべき姿なのではないかと感じています。

ぜひ今後ともご指導ご鞭撻のほどどうぞよろしくお願いいたします。

\* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* —

◆メールマガジンに関するお問合せ・配信先変更・担当者変更・  
配信中止のご連絡は、sangakukoho5[at]cjr.shizuoka.ac.jp まで  
お願いします。（↑送付の際は[at]を@に変更してください。）

◆本メールマガジンの商業用の転載はお断りいたします。

## 発 | 行 | 者 |

国立大学法人静岡大学イノベーション社会連携推進機構  
発行責任者：木村雅和  
〒432-8561 静岡県浜松市中区城北3-5-1  
TEL 053-478-1703  
URL <http://www.cjr.shizuoka.ac.jp/>

\* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* —

Copyright (c) 2008-2013  
Organization for Innovation and Social Collaboration,  
Shizuoka University. All rights reserved